



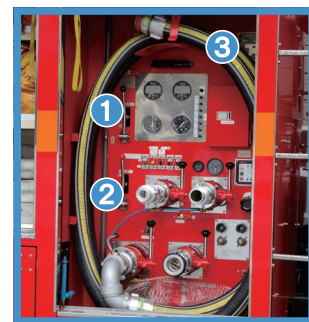
5. 消防隊の装備

消防車のしくみや、安全に火を消すための工夫を見てみよう。



火災などへ立ち向かう装備を見てみよう！

水槽のついた消防車に、ホースをつないで火を消します。
水槽には、約2,000 L [牛乳パック (1,000mL) 2,000本] の水をつんでいますが、火災の時は、5分ぐらいで全て使ってしまう。したがって、水がなくならないように、近くの消火栓や防火水槽から水を吸い上げて使います。



すいそうしゃ
水槽車

1 メーター

ホースに水を送る強さがわかります。

2 放水口

ホースをつなぎ、横についているレバーで水を送ったり、止めたりします。

3 吸管

消火栓につないで水を吸い上げるホースです。



消火栓

はいすいかん
配水管につな
がっています。



防火水槽

こうえん
公園などに埋めら
れていて、水槽車
やく だいぶん みず
約20台分の水を
たくわ 蓄えています。



4 ホースカー

やく ぼん
約10本のホースをつむ
ことができ、簡単にホー
スをのばすことができま
す (ホース1本の長さは
やく メートル
約20mです)。

火災のデータ(2024年中(速報値))

市内の出動件数

420件

建物が燃えた火災の件数

294件

火災を消すために使った水の量

2,051,733L



隊員は、炎や煙から身を守るために
さまざまな装備を身につけています。

5 防火帽

火や水、落ちてくるものから頭を守ります。

6 キャップライト

火災現場では煙で見えにくいので、
ライトを照らして活動します。

7 しころ

顔や耳を炎から守ります。

8 手とび 9 中長とび

壁などを破壊する時に使います
(活動の目的に合わせてとびの
大きさを変えます)。

10 防火衣

水を通さず熱にも強い素材でできています。

11 空気呼吸器

煙などを吸わないようにするため、
12 面体
をつけてボンベから送られる空気を吸って
活動します。使用時間は活動時で約10～
15分、普通の呼吸で約40分です。



13 現場用長靴

炎や衝撃に強い長靴です。釘などを
踏み抜かないように底に鉄板が入っ
ています (約200度の熱に耐えられ
ます)。

14 携帯警報器

隊員が動けなくなった時に感知して
警報音がなり、ほかの隊員に知らせ
ます。



ドローン

ドローンを配備して、上空から
の情報収集や捜索を行っています。

訓練のようす

いつでも火災現場に行けるよ
うにホースをのばして水を出
す消火訓練や、はしごなどを
のばして人を救出する救助訓
練などを行っています。



車両の両側には、ホース
(約10本ずつ) などが入っ
ています。

火災のほかにも、ガスがもれていたり、ガソリンや
灯油が大量にこぼれたりした時も出動するんだ。

